

＜本年度会長テーマ＞ 『みんなで創りみんなで味合うロータリーの愉悅（よろこび）』

例会日／毎週木曜日
会 長／青木 幹丸

例会場／リーガロイヤルホテル広島
幹 事／山口 洋充

Vol.586

2020年8月6日（木） 第974回例会
32階 「ダイヤモンドルーム」

会長時間



皆さんこんにちは。

今日は、崇徳高校のインターアクトクラブの方々にお越しいただいております。

顧問の鴨谷先生、結城くん、浅原くん、大串くん、ようこそお出で下さいました。後ほど宜しくお願いいたします。

さて、今日は折しも75回目の原爆の日に当たっております。75年は草木も生えないと言われた広島は、いま国際平和文化都市として、中・四国地方の雄都として見事に復興、発展を遂げております。先人の弛まぬ営みに敬意を表するとともに、平和の有難さを改めて痛感するところです。

今日書いてきた言葉は、「原爆の日で崇徳高校ならこれしかない」と、一昨日閃いたもので、「兵戈無用（ひょうがむよう）崇徳興仁（そうとくこうにん）」です。仏説無量寿経下巻に出てくるお釈迦様の教説になります。

仏（ぶつ）の教化（きょうけ）の及ぶところには、兵隊も武器も使わなくてもよい、人々は徳を敬い思いやりの心を培っていくのだという意味になります。

まさに私たちが欣い求める理想の姿と考えますが、現実には、古今東西、国は疲弊し人心は荒廃して戦火が絶えない状況があるわけです。

かつて、このクラブの特別代表二宮義人先生（故人広陵学園理事長）は、毎年、この原爆の日が一番近い例会日に、この安佐ロータリークラブでも卓話をして下さっておりました。学徒動員、特攻志願の生き残りというお立場から、「二度と戦争を起こしちゃあいけん」と、いのちの大切さと不戦平和を切々と語られました。生きて終戦を迎えられた方々が異口同音に口にされる、死んでいった戦友たちへの屈折した後ろめたさの発露として、発言せずにはおれないというおこころではなかったかと思います。

しかし、毎年その結論のところまではなかなかお話が進まず、まず、いつも荒れた少年・青年時代の話より始められるものですから、とても30分では収まりません。最後は、また次の機会にと、うだうだ。

そんな中、慈愛に満ちたお母上の白いマフラーの話や、体調を崩して玖村の加藤病院へ入院中同室の老女から、「お若い士（し）、そんとに世をはかなむもんじゃないよ」と諭されたお話とか、特に印象に残っています。

およそ140年の歴史を持つ崇徳高校の皆さん。今も存続しておりますが財団法人崇徳教社がその設立の母体となりました。

寄付行為というのでしょうか、教社の目的に大きく3項目ありまして、1、伝道・布教 2、教育 3、慈善事業となっております。

まさに教育部門が、第4仏教中学校の創設で、その流れをいま崇徳高校が受け継いで下さっているわけです。（OBもたくさんお歴々がおられるわけですが、まあなんといっても、前広島市議会副議長八條範彦先生でしょう）。そして、教社の慈善事業の部門を、高校教育の場で、インターアクトクラブとして体现して下さいなのが、今日いらっしゃっている皆さんののです。わたしはそう受け止めます。

「崇徳興仁」と校名の由来となった仏語で既に示されるように、徳を敬い思いやりの心を培うというそのものを実践下さっているインターアクトクラブの皆さん。今後の素晴らしい活動をこころより願っております。（なにしろ最良ですから）。



「崇徳高校IAC活動報告」

結城 嵩也様・浅原 慶知様
大串 力音様・鴨谷祐子教諭



広島安佐ロータリークラブの皆様には、平素よりお世話になっております。今年は、新型コロナウイルスの影響で、インターアクトクラブの研修や活動がほぼ中止となり、生徒もほとんど活動ができていない状況です。また、学校現場でも行事が中止となったり、今年から大学入試の形態も変わったりと、特に最高学年の生徒にとっては大変な生活が続いています。私も現在高校3年生の担任をしており、受験の準備のため生徒の活動記録などをまとめています。この大学入試改革では、知識・技術の習得はもちろんのこと、生徒が主体的に考え、行動し、自分の考えを表現する力を求められています。まさにこれは、インターアクトクラブの活動そのもので、今日はこうして皆様の前で発表をさせていただくことも、生徒にとっては大変貴重な経験となります。準備不足ではありますが、生徒の発表を聞いていただき、ご指導ご鞭撻をいただけたらと思います。今後ともどうぞよろしくお願い致します。



今日はお招きいただきありがとうございます。これから、崇徳高校インターアクト部の活動紹介をします。

インターアクト部のインターアクトとは、人と人との繋がりを大切にするという意味で、主にボランティアを中心とした活動を行っています。先輩方が始めた活動や、私たちが始めた活動を中心に紹介していきます。

ボランティア活動の内容は様々で、大きく4つに分けて①「人と関わる」、②「環境に関する」、③「集める・寄付する」、④「地域・社会へ貢献する」の取り組みがあります。

①「人と関わる」活動では、認定NPO法人ひゅーるぼんなどの児童福祉施設や、デイサービスセンターなどの高齢者施設、もみじ作業所などの障がい者福祉施設に赴き、交流したり、イベントのお手伝いをしたりしてきました。また、毎年11月に行われる崇徳祭では、もみじ作業所さんのクッキー販売のお手伝いをしています。

②「環境に関する」活動では、近隣のゴミ拾いや、広島安佐ロータリークラブさんとの活動の一つである比治山公園清掃活動があります。大規模な清掃活動で、とても達成感があると先輩からはお聞きしています。残念ながら、今年は新型コロナウイルスの影響により中止となりましたが、来年は実施されることを期待しています。

③「集める・寄付する」活動では、あしなが学生募金活動に参加し、街頭で募金活動を行ったり、学園祭でコーヒー販売を行い、その売り上げの一部を寄付したりしています。また、校内でペットボトルキャップを回収する、校内エコキャップ回収活動も行っています。以前、広島安佐ロータリークラブの方から寄贈された回収箱も活用させていただいています。それにより、去年は約42,527個、重さにすると98.9kgのエコキャップが集まりました。これはポリオワクチン約50人分になります。回収は大変でしたが、多くのエコキャップを回収できたため、とてもありがたく思いました。

④「地域・社会へ貢献する」活動では、これまで災害ボランティア活動にも参加してきました。過去を遡ると、2011年の東日本大震災、2014年の広島土砂災害、2018年の広島豪雨災害の被災地での土砂の撤去作業なども行ってきたと先輩からは聞いています。2014年の広島土砂災害では、インターアクトクラブで活動協力を呼びかけ、他クラブの人にも協力してもらい土砂の撤去や運搬作業を行いました。校内でも、災害支援金の呼びかけを行い、たくさんの生徒や先生が募金をしてくれたそうです。また2020年7月には、インターアクトクラブと生徒会執行部が協力して、生徒たちに絵本やおもちゃの寄付を呼びかけ、熊本豪雨災害の被災地（人吉市）に送る活動を行いました。人吉市の幼稚園は、床上50cmまで浸水し、全教室・遊戯室等が被害に遭い、絵本やおもちゃをすべて処分しなければいけない状態になったそうです。届けた絵本やおもちゃを手にして喜んでいる園児さんたちの姿を写真で拝見し、災害が起きた時には、スピーディーに対応することが重要だと実感しました。

また、2015年からは献血推進活動に力を入れて取り組んできました。人口減少にともない、献血者数が減少しているということから、学校で呼びかけて献血に協力してもらうためにも、自分たちが献血について理解するために、週に1回献血ルームに行き、街頭に立って献血の協力の呼びかけを行ってきました。さらに、千田町にある広島赤十字血液センターで研修をさせていただき、血液製剤を作っている様子を見学し、広島赤十字血液センターの方からお話を聞きました。輸血を必要としている人は1日に約3000人いることや、実際に幼い子どもたちの命が繋がれていることを学び、献血の重要性を実感し、今後も積極的に活動をしていこうという意欲につながりました。また、夏休み期間中に、小学生を対象とした「なるほど献血教室」に、高校生ボランティアとして参加し、献血について真剣に聞いていただけたことで、とてもやりがいを感じました。

さらに、崇徳高校で献血の輪を広げようと、年に1〜2回献血バスを学校に呼び、高校生に献血の協力をお願いしてきました。2019年1月は献血者が80名、7月は、献血希望者が100名もいたのですが、雨天による休校により中止となってしまいました。しかし、2019年10月は献血者86名、2020年1月は献血者83名と献血は無事に行われ、残念ながら献血ができなかった生徒も含めると、毎回100名近くの生徒の協力が得られました。今は献血推進活動ができていませんが、また今後も継続していきたいと考えています。

また、ボランティア活動以外にも、他校のインターアクトクラブとの指導者研修会や、地区大会にも参加してきました。韓国への研修旅行については、先輩たちから異文化を理解できるとても素晴らしい経験となったと聞いていたので、今年は参加希望者が出ていたのですが、新型コロナウイルスの影響でどの活動も中止となりました。とても残念ですが、また来年必ず参加したいと思っています。

さらに、第43回全国高等学校総合文化祭2019佐賀総文に参加し、佐賀県で2泊3日の研修、発表大会に参加しました。ボランティア活動に取り組む他県の高校生徒の交流を通して刺激を受け、とても意欲が沸く貴重な体験をすることができました。

これらの活動を陰ながら支えてくださる広島安佐ロータリークラブのみなさまには感謝の気持ちでいっぱいです。今後も、高校生として自ら考え動いていきたいと思いますので、ご指導のほどよろしくをお願いします。



8月6日（木）。広島は今日、75回目の原爆の日を迎えました。

75年は草木も生えないと言われ、焼け野原となった広島の街は、見事に復興し75年経った今では緑豊かな国際平和都市となり、世界中から平和を願う人々が訪れます。今年はコロナの影響で平和記念式典は縮小して行われましたが、平和を祈る気持ちは変わりません。

本日の例会はリーガロイヤルホテル32階のダイヤモンドルームで行われました。窓からは広島市内が一望でき広島平和記念公園が眼下に広がります。私は広島の街が好きです。川が流れ緑豊かでとても美しい街。どうかこの風景がいつまでも続きますように・・・。

そして、今週の青木会長のお言葉は「兵戈無用 崇徳興仁」。詳しい内容は会長談話をご覧ください。そこには書かれた文字「崇徳」が主題です。

本日の卓話は崇徳高校インターアクトクラブ顧問の鴨谷先生と部員の結城くん、浅原くん、大串くんの3名が来てくださいました。余談ですが、大串くんは昨年度まで広島安佐RCに在籍していた大串さんの甥っ子さんだそうで、奉仕の精神は受け継がれているのだと感心しました。

私たちの広島安佐RCは崇徳高校インターアクトクラブの活動をサポートさせていただいています。インターアクトクラブは社会奉仕活動を行うクラブで、献血、募金、清掃活動等々様々な奉仕活動をしているそうです。卓話では3名の皆さんが活動報告をしてくださいました。今年はコロナの影響で中止になりましたが、私たち広島安佐RCが毎年春に行う、比治山公園の清掃活動にも参加していただいています。自分が高校生の時を思い返すと、奉仕活動などほとんどしたことがなかったのですが、崇徳高校はじめインターアクトクラブの皆さんは本当に志が立派だと思います。若い頃から奉仕の精神を持っている人は、将来どんな道を行くのかとても楽しみです。私たちも微力ながら、彼らの活動をサポートして行けるよう頑張りたいと改めて思いました。

鴨谷先生、結城くん、浅原くん、大串くん本日はありがとうございました。これからも頑張ってください。そして、また広島安佐RCの例会に遊びに来てください。

(広報・会報委員)

8月6日(木) 第 974 回

本日のプログラム 「崇徳高校IAC活動報告」

幹事報告

1. BOX配布物

- ・ガバナ一月信とロータリーの友を配布しております。
- ・7月30日臨時理事役員会議事録を配布しております。ご一読下さい。
- ・休会のご案内を配布しております。
(8月20日、9月24日)
- ・確定申告用寄附金領収証を配布しております。再発行できませんので、大切に保管して下さい。

2. 例会変更

- ・広島陵北RC「夜間例会」
と き：8月19日(水) 18：30～20：00
※同日変更
ところ：リーガロイヤルホテル広島4階
「ロイヤルホールⅢ」

- ・広島南RC「新会員歓迎夜間例会」
と き：8月21日(金) 18：00～※同日夜間
ところ：リーガロイヤルホテル広島4階
「ロイヤルホール1」
 - ・広島安芸RC「新会員歓迎夜間例会」
と き：8月25日(火) 18：30～ ※同日変更
ところ：ホテルグランヴィア広島3階
3. 休会
- ・広島西RC 8月6日(木)・8月20日(木)
例会取り消しとなりました。
(メーキャップ受付はございます。)
 - ・8月11日(火) 広島RC・広島西南RC・
広島安芸RC
 - ・8月12日(水) 広島東RC・広島陵北RC
 - ・8月13日(木) 広島西RC・広島北RC
 - ・8月14日(金) 広島南RC・広島城南RC
4. お知らせ
- ・休会が2週続きますので、次回例会は8月27日となります。お間違えのないよう、よろしくお願いいたします。



ニコニコ箱

¥13,000 累計¥126,000

会員記念日 (8月)

☆お誕生日おめでとうございます

- ・黒田 七郎会員 (S25. 08. 24)
お陰様で、古希になります。
- ・道垣内 文夫会員 (S38. 08. 29)

☆入会月おめでとうございます

- ・松岡 與吉会員 (H19. 08. 02)
皆様にお世話になっております。
- ・道垣内 文夫会員 (H23. 08. 04)

☆創業月おめでとうございます

- ・野村 裕芳会員
(リーフラス(株)：H13. 08. 28)

☆青木 幹丸会員

今日は崇徳高校インターアクトクラブの生徒さんをお迎えして、活動報告をして頂きます。後ほど宜しくお願い致します。

☆奥芝 隆会員

今日の朝、広島テレビに池上彰さんが出演されておりました。その中で池上さんが崇徳高校の新聞部を訪問され、お互いになぜか刺激を掛け合っておられました。お見事でした。新聞部もインターアクトクラブの今後の活躍が広島を活性化させることでしょう。

崇徳学園 I A C 募金

8月分

松岡 與吉・奥芝 隆・岡本 忠文・谷 勝美

8/6 浮田収

「暑い日・夏・学生生活元気でエンジョイを！」

中村富子

「素晴らしい活動を応援しています」

道垣内文夫・黒田七郎・森本真治・三宅恭次
大北茂人・清家俊一・鈴木毅・山口洋充・湯本隼士
山岡稔

合計 17,000円
総合計 21,000円

2020年8月27日(木) 第975回例会
32階 「ダイヤモンドルーム」

会長時間



出席報告 第972回 7月15日

会員数 21名 出席率 85.00%

出席	16名	ご来賓	0名
欠席	5名	ご来客	4名
メーキャップ	1名	ゲスト	0名

ひょうがむようそうとくこうにん
兵戈無用崇徳興仁



皆さんこんにちは。お盆をはさんで2週間ブランクがありましたが、いかがお過ごしだったでしょうか。

今日は、10時に子ども療育施設「山彦園」を訪問し、地区補助金を得て行う、ミラリスピーカー1台（難聴者のために開発されたもの）、有線マイク1台、液晶カラーテレビ1式の贈呈式に臨んできました。

コロナ禍のいろいろ困難な状況の中、園長さんを始めとして職員の方々が保護者を交えて、障害を抱えた幼児の教育に専念しておられるお姿を垣間見ることができ大いに感動を覚えました。今まで、一度だけ広島修道院へは伺ったことがあります。今回久しぶりに教育の現場を視察させていただき、やはり地域に根差した奉仕の大切さを改めて痛感した次第です。

継続してこうしたロータリー財団事業に携わってこられた長神会員や道垣内副会長に感謝申し上げます。

また今月、古希を迎えられた黒田会員、まことにおめでとうございます。還暦の時には有志でお祝いをしたことを覚えております。その後、若干のブランクがあつて、今回再入会ののち古希と。先週炎天下でゴルフをご一緒しましたが、まだまだとてもお元気でいらっしゃいます。今度は、喜寿、傘寿までこのクラブでお祝いできるよう宜しくお願いいたします。

今日書いてきた言葉は「和顔愛語」です。仏教で無財の七施（お金を使わないで出来る七つの施し）を説く中で、和顔悦色施と言辞施に相当

します。微笑みを湛えた穏やかな表情と聞き取りあふれた言葉づかいということでしょうか。小学校にも学校協力者として出入りしておりますが、その現場では「あったかことば」という表現で指導されているようです。

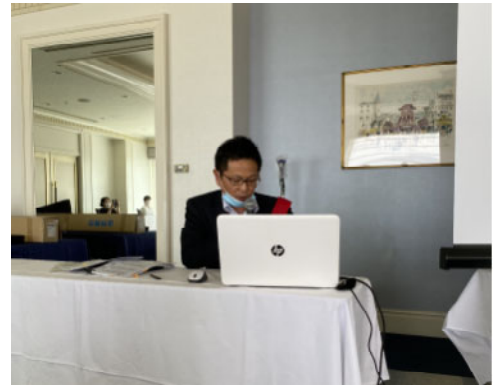
今日、聴力に障害のある子どもたちに手話の通訳がありました。これも、単に手による動作ばかりでなく、かつては読唇術などと言われておりましたが、すなわち口の開け閉めや目を中心とした表情が加わって初めて言葉や文章が伝わっていくということなのだと思います。健常者のみならず障害を持った人たちとのコミュニケーションにも、この「和顔愛語」ということが大切な心構えではないかと感じております。

それから、昨日の午前0時半をもってR I から配信され、午前中ヤフーのトップニュースにもなっておりましたが、とうとうアフリカ47か国で野生ポリオの感染が撲滅されたとのこと。2016年にナイジェリアで感染者が出て以来4か年の経過を経て今回の撲滅宣言になったとのこと。ただ、残されたアフガニスタンとパキスタン両国のポリオ根絶のために、今後ともロータリーは年5,000万ドルの寄付を求めていく方針とか。たいへんな道のりではあります。

今日の卓話は、横手会員によるまさにご専門、今回の新型コロナウイルス問題に対する各種補助金の申請事業についてのお話をさせていただきます。後ほど宜しく願いいたします。

「新型コロナウイルスに関する 助成金・支給金について」

横手 裕康 会員



新型コロナウイルス感染症により、皆様の事業に多大な影響を受けていることと思います。

本年3月ごろからは広島でも影響は大きく、様々な業種で休業を余儀なくされたことかと思います。今回は、新型コロナウイルスによる影響を受けた事業者が受け取る助成金等のご説明をさせていただきます。

皆様におかれましては、すでに十分情報収集をしておられることと思いますので、詳細な説明というよりは、主だったもののご紹介をさせていただき、申請漏れがないかなど一緒に確認して頂ければと思います。

なお、今回ご説明する補助金などは私の専門分野以外ですので、ご紹介だけになりますことをご了承ください。

助成金、補助金、融資含め、紹介しきれないものもたくさんあります。また内容も変更されていることがありますので、リアルタイムで情報収集していただければと思います。

【主だったものの説明】

- ①雇用調整助成金・・・特例期間の延長（9月末⇒12月末）が決まりました。（申請期限も併せて延長）
- ②家賃支援給付金
- ③各種補助金
- ④欠損金の繰戻し還付



黒田 七郎会員（昭和25年8月24日生）
古希のお祝をいたしました。

8月27日（木）例会を開催いたしました。

8月最後もリーガロイヤルホテル32階から、広島市内を一望しながらの例会でした。

本日は、黒田会員の古希のお祝いがありました。黒田会員は70歳とは思えないくらいお元気です。その源はゴルフでしょうか！？これから益々、元気で若々しい黒田さんでいてください。おめでとうございます。

そして、本日の青木会長のお言葉は「和顔愛語」。その意味は、穏やかな顔つきとやさしい言葉遣いだそうです。私も常々、できることならそうなりたいと思っていますが、なかなかできそうでできないことです。人に接する時は「和顔愛語」の心で穏やかに・・・

本日の卓話は会員卓話で、横手会員による「新型コロナウイルス感染症に関する助成金及び支給金について」のお話でした。

横手会員の職業分類は社会保険労務士で、こういった案件に関して専門分野だそうですが、コロナ禍で通常業務が逼迫する中、詳しい資料を作成してくださり、とても丁寧にレクチャーしていただきました。今、日本中（世界中）で多くの企業が経営難に追い込まれています。コロナの終息が見えない限り、経済の再開も見通しが立ちません。私たちはロータリアンとして社会奉仕活動を志していますが、自分自身の足下が安定しないと他人に対する思いやりをもてないのが現実です。青木会長のお言葉「和顔愛語」を実践できるよう、まずは自分自身の仕事や活動を安定させなくてはと思います。その意味でも、横手会員の卓話はとても参考になりました。ありがとうございます。

最後に、本日は100万\$のランチでした。話が前後しますが、会長談話で青木会長が話されましたが、このたび、アフリカ4カ国の野生ポリオが撲滅したそうです。国際ロータリーは長年に渡り、ポリオ根絶のために力を注いでいます。月に一度の100万\$のランチもポリオ根絶のための支援に繋がっていると聞きました。現在、ポリオ発祥数は99.9%減っているそうです。でも、100%ではありません。ポリオ根絶には、アフガニスタンとパキスタンの2カ国が残っています。世界中から全てのポリオが消えるまでこの活動は続きます。そのためには紛争のない世界が絶対です。

コロナ、ポリオ、そして人間同士の紛争がなくなるには、まだまだ先は長いかもしれませんが、一人一人にできること、「マスク」「手洗い」そして「和顔愛語」、小さなことがいつか大きな成果を生むと信じて頑張りたいと思います。

（広報・会報委員）

8月27日（木） 第 975 回

本日のプログラム 「新型コロナウイルスに関する 助成金・支給金について」

幹事報告

1. BOX配布物

- ・7月分の個人別出席一覧を配布しております。ご確認ください。
- ・8月定例理事役員会議事録を配布しております。ご一読ください。

2. 例会変更

- ・広島陵北RC「創立30周年記念式典・祝賀会」
と き：9月9日（水）17:00～19:00※同日変更
ところ：リーガロイヤルホテル広島4階
「ロイヤルホールⅢ」
- ・広島西南RC「創立34周年記念例会」
と き：9月9日（水）12:30～※9月8日（火）昼より変更
ところ：ANAクラウンプラザホテル

ニコニコ箱

¥1,000 累計¥142,000

☆青木 幹丸会員

皆さん ご無沙汰です。久しぶりの例会で、今日は午前中、療育センター「山彦園」へ寄付の寄贈式へ行ってきました。残暑の厳しい中、お身体を大切にされて、9月からのロータリーも宜しくお願い致します。

出席報告

第973回 7月30日

会員数 21名 出席率 95.00%

出席	18名	ご来賓	0名
欠席	3名	ご来客	0名
メーキャップ	2名	ゲスト	0名

わげんあいご
和 顔 愛 語

広島市こども療育センター山彦園 プレゼントセレモニー 2020年8月27日(木)

広島市南区南蟹屋2-1-11社会福祉法人広島市社会福祉事業団 広島こども療育センター山彦園で寄贈式を行ってまいりました。

地区補助金を活用し今回は大型モニターと聴覚障害の方に適した特殊なスピーカーを寄贈致しました。そして広島市よりお礼の書面を頂きました。

山彦園園長（言語聴覚士）柳井真由美様のご配慮で施設を拝見させていただきました。現在の難聴検査は生後4～5日から検査が出来るため様々な対策が早期に施せるようで実際、生後間もなくから通園している子もいらっしゃいました。贈呈式では大型モニターに映った自分たちの画像を大きな笑い声を出しながら見ている様子を拝見し出席した青木会長、山口幹事、横手副幹事も自然と笑顔になっていました。

（財団委員：道垣内 文夫）

